

大阪大学 大学改革のいま

— Reform Through OU Vision 2021 —

みなさまのご尽力により 文部科学省国立大学法人評価委員会から 「順調」と評価されました！

くわしくは

大阪大学 指定国立大学

で検索

全体

構想概要

社会との「共創」を通じて、「知」を創出し、人材を育成することによって、人類の幸福と社会の持続的成長のためのイノベーションに貢献する。

そのための戦略として、

1. 新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成
2. 共創イノベーションによる好循環システムの構築
3. 共創イノベーションを担う優れた人材の育成・獲得を推進しており、これらを支える基盤の強化として、国際協働ネットワークの基盤強化、ガバナンス改革・財務基盤強化に取り組む。



評価

構想の実現に向けて、学長のリーダーシップの下、計画的に取り組んでいる。

特に、以下は意欲的な取組である。

- 「共創」の概念を具体化・高度化し、安定的かつ持続性の高い、「知」と「人材」と「資金」の好循環を実現するOUエコシステムの確立
- 共創機構を中核としたオープン・イノベーションを推進する取組

世界最高水準の教育研究活動の展開とイノベーション創出に向けて更に積極的に取組を進めていただきたい。

評価項目①

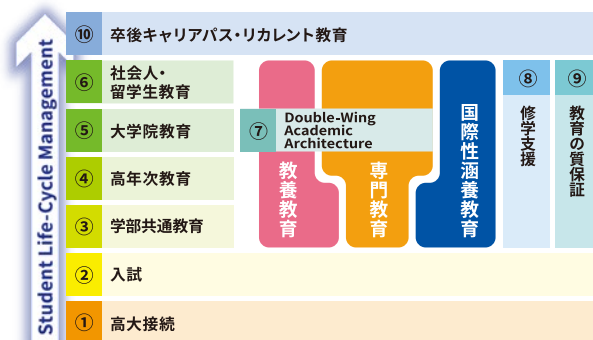
人材育成・獲得

Open Education

取組概要

- 高大接続から卒後キャリアパスまでの全体最適な教育体制の構築(右図参照)
- 学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム(Double-Wing Academic Architecture)による大学院教育改革
- 新たな価値創造の源泉として、「Diversity&Inclusion」を推進

教育体制の全体整備



評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。

評価項目②

研究力強化

Open Research

取組概要

- 3つの機構(右図参照)により世界トップレベルの研究を持続的に創出するための体制整備
- 重点3分野へ戦略的に投資
- ELSI(倫理的・法的・社会的課題)について総合的に研究するセンターを整備

世界トップ拠点形成に向けた体制整備



量子は世界トップ
拠点化へ躍進

評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。

評価項目③

国際協働

Open Community

取組概要

- 海外の有力大学と共同で研究を行うグローバルナレッジパートナー（GKP）の拡充及びASEANキャンパスを活用した高度グローバル人材の育成
- 「OUグローバルキャンパス」（箕面新キャンパス）によるグローバル拠点の形成

評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。

グローバルナレッジパートナー



評価項目④

社会との連携

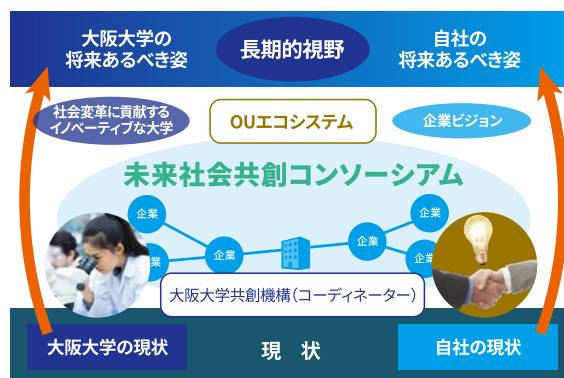
Open Innovation

取組概要

- 共創機構を中核とした産学官共創の進展
- 課題探索段階から本学と産業界が共創する「未来社会共創コンソーシアム」の立ち上げ
- 社会ソリューションイニシアティブによる人文社会科学系を中心とした社会課題の発見と解決への探究

評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。



評価項目⑤

ガバナンスの強化

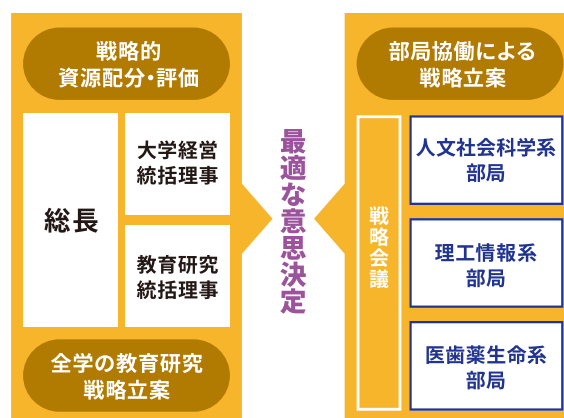
Open Governance

取組概要

- 阪大版プロボストである統括理事2名による全学的な調整、戦略策定
- 部局を大括りした戦略会議によるボトムからの戦略立案機能
- 両統括理事とリスク管理担当理事による一元的なリスク管理体制

評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。



評価項目⑥

財務基盤の強化

Open Governance

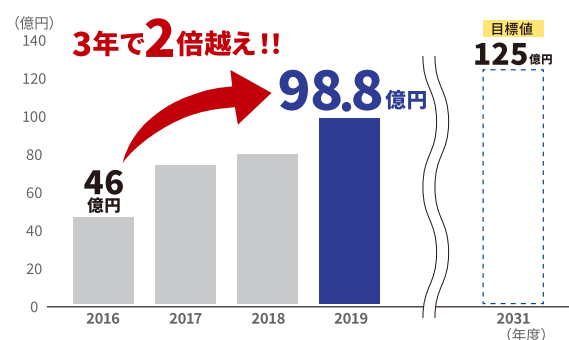
取組概要

- 組織対組織の産学共創による大型共同研究費の獲得、さらに基礎研究への還流
- 100件を超える共同研究講座・協働研究所の設置
- 大阪大学未来基金の順調な拡充

評価

構想の達成に向けて順調に進捗している。

産学共創の深化による共同研究収入の大幅な伸び



その他

評価

コンプライアンスに関する取組（研究費使用、研究活動、情報セキュリティ）についても **好評価**。

ガバナンス改革、教育研究改革、社会課題への対応などの「経営改革」が「高評価」を受けました！

国立大学改革強化推進補助金を活用し
「OUエコシステムの確立」へ！

強靱なガバナンス

国際的な研究環境
ネットワーク

安定性の高い
財務基盤



文部科学省

「国立大学改革強化推進補助金に
関する検討会」からの所見概要

経営改革は順調に進展。

特に、以下の点に高い評価。

- トップダウンとボトムアップが両立したガバナンス改革の進展
- 自然科学系のみならず、SSIやELSIセンターなどの人文社会科学系も含めた、文理横断的なバランスのとれた経営改革の推進
- 社会ニーズにスピード感をもつて的確にフィットする形で大学改革が進行
- コロナ禍に対する迅速かつ秀逸な対応

大阪大学の今後の展開

中長期の一貫した大学経営指針の策定

OUマスタープラン

(指定国立大学構想、第4期中期目標・中期計画を包含)

社会との共創による
「生きがいを育む社会」の創造を目指す

今後の改革取組

○ Student Life-Cycle Management

入学前から卒業・修了後に至るまでの学生の様々な活動データを蓄積し、教育改革、学生支援に活用

○ 感染症総合教育研究拠点

感染症克服のための、予防・診断・治療法等の総合的研究開発、リーダー人材の育成、社会への情報発信等を通じて、いのちと暮らしを守る拠点

○ 社会との共創を通じた阪大ブランドの強化

マーケティングに基づいた受験生向け活動
優秀な研究者を惹きつける研究成果等の発信

○ 附属病院における革新的医療の開発・提供

○ トリプルDの推進

- DX(OU DX)イニシアティブによる「豊かな時間の創出」
学生サービスのオンライン化
バーチャル留学の推進
研究活動のフルオンライン化
働き方、働く場所の弾力化
- Diversity & Inclusionの深化
アンコンシャスバイアス克服による女性高度人材の育成
海外大学との連携による社会課題への挑戦
- Decarbonization: 脱炭素キャンパスの実現
2030年度までに温室効果ガス排出量40%以上削減(2013年度比)